

第2回 発明と音楽の集い

技術と芸術という言葉はともに「術」スキルをあらわす文字を用いています。前者が生活に役立つものを、後者が生活を楽しむものを作り出すスキルです。スキルの源は、修練によって得られるテクニックであるとともに、新しいものを生み出す創造性です。「技」と「芸」の違いはあるとはいえ、「術」を鑑賞する機会として、昨年に引き続き“発明と音楽の集い”を開催します。



Akira Yoshino

吉野 彰 旭化成フェロー

1972年3月 京都大学大学院工学研究科石油化学専攻 修士課程修了。同年4月、旭化成(株)入社、主として機能性高分子等の研究開発業務に従事、1981年から新型二次電池の研究に着手し、1985年にリチウムイオン二次電池を発明。1992年に(株)東芝との合併会社(株)エイ・ティーバッテリーの設立に携わり、リチウムイオン二次電池を事業化。この業績に対し国内、国外の団体から多くの賞を受賞し、2004年度には紫綬褒章、2014年に米国工学会アカデミー Charles Stark Draper Prize を受賞。

現在、旭化成フェロー、旭化成(株)吉野研究室長、技術研究組合 リチウムイオン電池材料評価研究センター 理事長、工学博士。



Iwao Furusawa

古澤 巖 ヴァイオリニスト

桐朋学園大学首席卒、フィラデルフィア・カーチス音楽院卒業。ミルシテイン、ヴェーグ等に師事。日本音楽コンクール第1位。ヨーヨー・マやステファン・グラッペリ、アサド兄弟などとも共演。87年帰国後、葉加瀬太郎と新しいコンサート創りを始め、現在に至る。木下グループのキノミュージックではプロデューサーとして、平沼有梨（ソチオリンピック鈴木明子「愛の讃歌」）、はたけやま裕（復興歌「ハナミズキの願い」アマゾン連続1位）等を制作。毎年、雅楽の東儀秀樹と全国ツアーを行っている。最新アルバムは、ベルリンフィルメンバーとの「弦楽のタンゴ」(HATS)。

公益財団法人 日本発明振興協会（会長 原 昭邦 (株)白寿生科学研究所社長）は、優れた発明を表彰する「発明大賞表彰」、小学3年生から中学2年生を対象に創造性を育む「こども発明教室」、発明の実用化を支援する「発明研究奨励金交付」などの事業を通じて、発明の振興と育成を図っています。“発明と音楽の集い”は多くの方々に科学技術に親しんでいただくため、昨年(2013年)創立60周年記念事業の一つとして始めました。また、遊びながら科学について学べる「DNAトランプ」を制作し、科学マインドの普及に努めています。

HAKUJU HALL へのアクセス

東京都渋谷区富ヶ谷 1-37-5 (株)白寿生科学研究所 本社ビル7F
電話 03-5478-8867

最寄駅

代々木公園駅 (千代田線) 出口1より徒歩5分
代々木八幡駅 (小田急線) 南口より徒歩5分
渋谷駅 (西口バスターミナル) より10分。「富ヶ谷」バス停下車徒歩1分
* 渋61 (初台駅行)、渋63 (中野行)、渋64 (中野行)、渋66 (阿佐ヶ谷行)、
渋67 (笹塚循環) がご利用いただけます。

お車で越しの場合は、近隣の駐車場をご利用ください。

